

2020年 社長年頭挨拶 ～強靱な筋肉体質へ、Aichi Way での“大変革”～

<藤岡社長年頭挨拶 要旨>

皆さん、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、新たな決意と共にご挨拶させていただきます。

1. 激動の2019年

2019年は、米中貿易摩擦などの世界情勢の変動や、大規模災害の発生など、予測困難な出来事に多く見舞われました。更に、100年に一度とも言われる自動車の大転換の中で、自動車業界での事業再編が加速し、鉄鋼業界では競争力強化・得意分野への注力が進むなど、**劇的な変化**が起こっています。

このような中で、当社は生産量の変化にも確実に対応し利益を出す「**限量経営**」を実践し、**全員参加の収益改善活動**を確実に推進することで**大きな成果**を上げつつあります。

2. 2020年の取り組み

(1) 2030年のビジョンの策定

激しく変化し続ける経営環境を踏まえ、当社の存在意義を明確にするため、現在「**2030年ビジョン**」の策定に着手しています。

以下の3つの考え方をベースとし、“Company of Choice Globally”（世界中で選ばれる会社）の実現を**全社員**が自分自身の目標に据えて、達成に向けて取り組める環境を整えていきます。

- ①「**素材**」の強みを生かした部品／システムメーカーへ脱皮する**新ビジネスモデル**を構築する
- ②注力分野へ思い切ったリソースシフトを行う
- ③社員一人一人が**納得し実践できる道筋**を示す

(2) 大変革に向けた3つの取り組み

2030年ビジョンの策定に加え、将来への更なる飛躍に向け、3つの取り組みで大変革をスタートします。

①大変革に向けた限量経営での基盤強化

生産量の変動に対応するために、**ムダを徹底的に排除**するトヨタ生産方式を駆使してコスト（固定費＋変動費）を低減し、損益分岐点を下げてそれを維持することで、生産量に左右されない「**限量経営**」に取り組むことが何よりも大切です。小さなことも確実に積み上げ、利益を生み出せる体質づくりを目指しましょう。

また、「**自工程完結**」でやり直しのない**業務遂行**をしてください。仕事のやり直しは追加コストの発生に直結します。**常にお客様や後工程を意識**し、良品条件を明確にして、仕事の質を高めて生産性向上に努めましょう。

②グローバルでの連結収益力を磨く

“ホーム&アウェイ”でグループ内の重複する業務を見直し、集約することで、それぞれの会社の強みを最大限発揮させ、**アイチグループ全体での収益最大化**を目指します。グループ外にも目を向け、**既存の枠組みを超えた**広い視点で協力体制を築き、「競争力」と「付加価値」を向上させ、収益力を底上げしていきましょう。

そして、新ビジネスの早期事業化が求められています。会社や組織の垣根を超えて、**未来社会に貢献する**ような数々の新ビジネスの芽を育てていきましょう。

③明るく、風通しのよい職場づくり

今までにない変革を進めていくためには、一人ひとりが力を発揮できる働きやすい職場づくりが不可欠です。一人ひとりの**多様性を尊重したマネジメント**と、上司、部下、メンバー同士の顔を突き合わせた**双方向のコミュニケーション**を通じ、信頼関係をよりいっそう強固にすることで、**職場力向上**を目指していきましょう。

3. 皆さんにお願いしたいこと

2020年は、創立80周年を迎える節目の年であるとともに、2030年に向けた変革への**勝負の年**です。今、速やかに既存ビジネスの発想転換と新ビジネス創出を強く推進しなければ、年輪的成長は成し遂げられません。

自分の敵は自分自身です。私たち自身が**固定観念や先入観**を自ら打ち破り、2030年の未来を見据えて、**全員参加の「大変革」**を実行していきましょう！